太陽地球系結合過程の研究基盤形成
Study of coupling processes in the solar-terrestrial system

*山本 衛[1]、橋口 浩之[1]、宮岡 宏[2]、小川 泰信[2]、塩川 和夫[3]、野澤 悟徳[3]、吉川 顕正[4]、津田 敏隆[5]
*Mamoru Yamamoto[1], Hiroyuki Hashiguchi[1], Hiroshi Miyaoka[2], Yasunobu Ogawa[2], Kazuo Shiokawa[3], Satonori Nozawa[3], Akimasa Yoshikawa[4], Toshitaka Tsuda[5]

1. 京都大学生存圏研究所、2. 国立極地研究所、3. 名古屋大学宇宙地球環境研究所、4. 九州大学大学院理学研究院、5. 情報・システム研究機構
1. Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University, 2. National Institute of Polar Research, 3. Institute for Space-Earth Environmental Research, Nagoya University, 4. Graduate School of Science, Kyushu University, 5. Research Organization of Information and Systems

太陽エネルギーは放射と太陽風（高エネルギー粒子流）から構成され、前者は赤道域で、後者は極域で最大となる。これらの特異点に２つの大型レーダーを建設し、更に全球観測網を整備する。計画期間は10年であり、下記の装置を導入する。

（１）赤道ＭＵレーダー（インドネシア）
（２）EISCAT_3Dレーダー（ノルウエー・スウェーデン・フィンランド）
（３）広域地上観測網

以上により太陽から地球に至るエネルギーやその変動に対する地球大気圏・電離圏・磁気圏の応答過程を知り、領域間の結合過程を解明し、統一システムとしての定量的な理解を深める。本計画は、マスタープラン2014および2017において重点大型研究計画に採択され、文部科学省ロードマップ2014に掲載された。現在、各研究機関から概算要求を行っている。これまでの評価を踏まえ、引き続きマスタープランに応募して行く。

キーワード：大型研究、太陽地球系結合過程、大気・電離圏レーダー
Keywords: Large research project, Coupling processes in the solar-terrestrial system, Atmospheric and ionospheric radar

©2018. Japan Geoscience Union. All Right Reserved.